

# ID管理による欧州金融システムの保護

## 高水準のセキュリティと権限委譲

ECB(欧州中央銀行)は監督官庁として、さまざまなプロセスやサポートアプリケーションを必要としており、これらはすべてポータルを通じてユーザーに提供されています。ECBは、最高水準のセキュリティ基準に従って、これらのアプリケーションへのアクセスを厳密に制御しています。ECBはゼロトラストセキュリティモデルを採用しており、すべてのデータ処理に欧州のデータレジデンシーを必要としています。

こうした厳しい要件のため、ECBはアクセス制御に断片的なアプローチを使用することはできません。その代わりに必要なのは、ユーザーおよびアクセス管理の権限を監督下の銀行やその他のステークホルダーに委譲できる柔軟性を備えた、単一のIAM(IDおよびアクセス管理)プラットフォームです。これこそが、ECBがパートナーとしてOneWelcomeを選んだ理由です。

## 多様なユーザー層

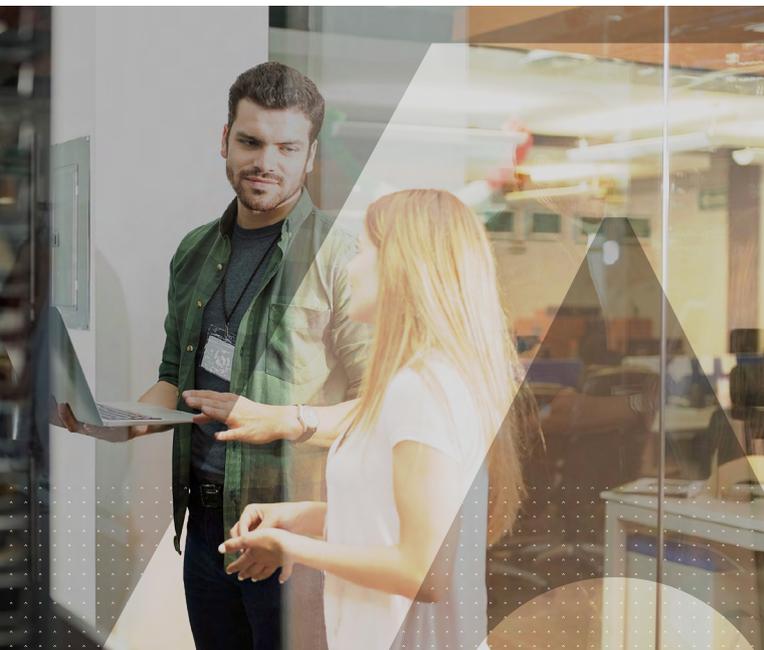
ECBがOneWelcomeに関心に向けた理由は、当社が監督プロセス、文書交換、データ侵害報告用のアプリケーションへの安全なアクセスを可能にする中央IAMシステムを提供しているからです。OneWelcomeのソリューションは、きめ細かなアクセス制御モデルを採用しているため、監督下の銀行内の権限委譲された管理者は、同僚を招待してプロセスの一部を遂行し、ECBと情報交換することが可能です。

このため、ECBはユーザーを維持する責任と管理負担から解放されます。これは広範なユーザー層を考えると大きなメリットといえます。また、国会議員、ユーロシステムの各国銀行の職員、レポーターなど、ECBが提供する情報やレポートへのアクセスを必要とする外部のビジネスユーザーも多数存在します。

## アプリ内認証用のモバイルソリューション

ECBは、より迅速でユーザーフレンドリーなデータ交換を可能にするアプリの開発に取り組んでいます。そのプラットフォームに、ECBはOneWelcome Mobile Identityソリューションを追加しました。これは多要素認証を使用するモバイルソフトウェア開発キット(SDK)であり、ECBはユーザーがアプリにログインする際に高レベルのセキュリティを確保できます。また、アプリを利用してメッセージの送受信やトランザクション署名を安全に実行できるというメリットもあります。

金融界のデジタル化が進む中、ECBはセキュリティと監視の国際基準の設定に貢献しています。OneWelcomeのサポートを得て、ECBは何千人ものユーザーに対して、より合理的でユーザーフレンドリーなIAMを実現する道を切り拓いています。これは、最適なセキュリティと利便性をいかにして両立できるかを示す好例といえます。



EUROPEAN CENTRAL BANK

## 欧州金融の中心

ECB(欧州中央銀行)は、ユーロを導入している欧州連合(EU)全19カ国の中央銀行です。ユーロシステムの中核をなすEUの公的機関として、単一監督メカニズム(SSM)を通じて欧州銀行の健全性の監督を担っています。監督官庁としての役割を果たすため、ECBはさまざまなレベルの多くの外部ステークホルダーと頻繁に情報交換を行っています。



10,000

users of Europe's  
largest banks



7

applications



1

identity platform

## タレスについて

皆様がプライバシー保護を信頼して任せている相手は、そのデータを保護するためにタレスに頼っています。データセキュリティに関しては、組織が直面する決定的な局面は次々と増え続けています。その局面が暗号化戦略の策定、クラウドへの移行、コンプライアンス要件の順守のいずれであっても、デジタルトランスフォーメーションを保護するためにタレスに頼ることができます。

決定的瞬間のための決定的なテクノロジー